

2013年2月5日

グローバル経営体制の強化に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、2013年4月1日付でトップマネジメント体制を含むグローバルな経営体制を改訂しますので、お知らせします。改訂の概要は以下の通り。

【トップマネジメント体制】

社長直属のメディカル担当役員の新設

医学的根拠に基づいた医薬品情報を創造し、安全性情報を的確に収集・提供する機能をグローバル規模で強化するとともに、これら機能の意思決定並びに責任主体を明確にする。メディカル担当役員には Sef Kurstjens, M.D., Ph.D.（現 Agensys, Inc. 社長）が就任する。

（運用）

	英文タイトル	担当部門
社長	President and CEO (Chief Executive Officer)	監査部、研究本部、 <u>APGD</u> *1、 信頼性保証本部（ <u>GQA</u> 、 <u>GCRQA</u> 、 <u>GRA</u> ）*2、 技術本部、営業本部、 アジア事業本部、 <u>APEL</u> *3、 <u>AUS</u> *4、Agensys
副社長	Executive Vice President, CAO&CCO (Chief Administrative Officer & Chief Compliance Officer)	渉外部、総務部、人事部、 法務・コンプライアンス部、秘書室
財務担当 役員	Senior Vice President and CFO (Chief Financial Officer)	経営推進部、経理部、広報部、 調達部、コーポレート IT 部
経営戦略 担当役員	Senior Vice President and CSTO (Chief Strategy Officer)	経営企画部、製品戦略部、 ライセンシング&アライアンス部、知的財産部、 ワクチン事業推進室
メディカル 担当役員 (新設)	CMO (Chief Medical Officer)	<u>GPV</u> *2、 <u>GMA</u> *5

*1: Astellas Pharma Global Development, Inc.

*2: Global Quality Assurance（グローバル品質保証機能）

Global Clinical and Research Quality Assurance（グローバル薬事監査機能）

Global Regulatory Affairs（グローバル薬事機能）

Global Pharmacovigilance（グローバルファーマコヴィジランス機能）

*3: Astellas Pharma Europe Ltd. *4: Astellas US LLC *5: Global Medical Affairs

【グローバル経営体制】

グローバル・ファーマコヴィジランス体制及びグローバル製品コンプライアンス体制の更なる強化

(目的)

各国承認基準に合致した製品を最新の安全性情報とともに患者さんに届けることを至上命題とし、グローバルの信頼保証体制の強化とこれらの機能におけるオペレーションの高質化を目指す。

(運用)

これまで各地域毎に実施してきた機能を、以下の通り、各機能毎のグローバルリーダーの下に集約する組織として改編する。

グローバル・ファーマコヴィジランス体制 概要

- ・ 各極におけるファーマコヴィジランス（以下「PV」）組織を束ねるグローバル PV 機能長を新設
(所在地：米国イリノイ州ノースブルック)
- ・ 各極における PV 及び欧州 QPPV（Qualified person for PV）の組織・機能は継続

グローバル製品コンプライアンス体制（グローバル品質保証・薬事監査・薬事）概要

- ・ 各極における品質保証・薬事監査・薬事の組織を束ねるグローバル機能長を新設し、信頼性保証本部の直下に配置
(グローバル品質保証機能長の所在地：東京、グローバル薬事監査機能長、グローバル薬事機能長の所在地：米国イリノイ州ノースブルック)
- ・ 各極における品質保証・薬事監査・薬事の組織・機能は継続

以上

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社
広報部
TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473